# テーマ２：パラリンピックスポーツ
# 授業６　：ブレードランナーの活やくからみえること

**学習のめあて**
パラアスリートの経験について学ぶ

## Activity A

### より速く、より高く、より強く：パラリンピック大会の発展

### １．準備物

- 授業用シート
  （1 － 1「パラリンピックってなんだろう?」）
- ワークシート１、２
  （2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）
- 参考資料
  （2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）
- 筆記用具

### ２．授業の進め方

授業用シート（1-1「パラリンピックってなんだろう?」）を用い、パラリンピック大会が始まった 1960年からの発展について紹介する。（既に授業で取り扱った場合は、簡単に復習するだけでもよい。）授業用シート（1-1「パラリンピックってなんだろう?」）の全て、または一部を利用して、競技用具などの発展が、今日のパラアスリートのタイムや距離、正確性などの向上に、どのように貢献してきたかを説明する。

またパラリンピックの価値、すなわちパラリンピックがパラスポーツの発展において、重要な役割を果たしていることについても考えさせる。


ottobock.
Worldwide Paralympic Partner
AGITOS Foundation
Developing Sport, Changing Lives

## Activity B

### ブレードランナー

少人数のグループに分け、参考資料（2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）を渡す。

参考資料を用いて、上肢や下肢が欠損している人たちにとって、ランニングブレードやその他の義肢等が果たす役割、また公平に競技に参加できるように、義肢等がどのように役立っているかを説明する。

グループ活動の中で、ワークシート１、２（2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）にも記入させる。このワークシートを通じてアクティビティ A と B で学んだ内容をまとめる。

## Activity C

### ランニングブレードを作ってみよう。

張り子の手法を使って、ランニングブレードの模型を作成する。作成には型紙と接着剤（でんぷんのり、液体のり）が必要。高学年の児童は、自分達で準備ができると思われるが、低中学年の場合は、教員が予め準備をする必要がある。

### １．準備物

- 参考資料
  （2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）
- 型紙
  （2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）
- 接着剤（でんぷんのり、液体のり）
- ハサミ
- 張り子に使用する紙

### ２．授業の前の準備　（型台を作る）

（１）授業を始める前に、グループの数に合わせて厚紙を用意しておく。

（２）型紙（2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）を印刷する。（必要に応じて拡大印刷する）

（３）型紙（2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）を厚紙に写し、形に沿って厚紙を切り取る。

（４）厚紙を折り線に沿って折る。

（５）厚紙の①と②、③と④のそれぞれ接する面を接着剤で貼り合わせ、立体の型を作る。

（６）接着剤が乾いたら張り子の土台になる「型台」の完成。

（７）型台に貼り重ねるための「張り子に使用する紙」を何枚か型台の長さ、幅に合わせて切っておく。


ottobock. Worldwide Paralympic Partner
AGITOS Foundation Developing Sport, Changing Lives

## 3．指導の仕方

ランニングブレードの作り方の動画を見せる。
https://www.ottobock.co.jp/prosthetic_le/joint/sports/

3～4人ずつのグループに分ける。オットーボック社の動画で見た方法で、ランニングブレードを作ってみるように促す。それぞれのグループに型台、接着剤、張り子に使用する紙、ハサミを渡す。

「のりしろ」に接着剤をつけ、最初の「張り子に使用する紙」を型台の形に沿って貼っていく。その上に、厚みが 1cm になるまで紙を何枚も重ねて貼っていく。はみ出た部分は切り落とす。完全に接着材が乾燥するまで待ち、乾いたら、貼り重ねてできた模型を型台から外す。色を塗ったり、飾りをつけたりして、他の児童・生徒に見せるために展示する。

# Activity D

## さぁ、トレーニングに行こう!

（アクティビティ D は、6～8歳向けです）

## 1．準備するもの

- ワークシート 1
  （2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）
- クレヨンやペンなどの筆記用具

## 2．指導の仕方

ワークシート 1（2 － 6「ブレードランナーの活やくからみえること」）をコピーして児童に配布する。ランニングブレードを使っているアスリートが練習中に使用するであろう道具を描くように指示を出す。描き終わったら、何を描いたのか、またなぜ描いたのかを話し合う。


ottobock.
Worldwide Paralympic Partner
AGITOS Foundation
Developing Sport, Changing Lives

## 3．話し合う内容

- 何か上手になりたいと思ったら、どんなことをすればいいか？
- みなさんは学校で、パラアスリートたちのように物事に一生懸命取り組んでいるか？
- パラアスリートがベストを尽くせるように、どんな人たちがサポートしているか？
- ランニングブレードを使っているアスリートは、障害のないアスリートと競い合うべきか？
- 「障害がある」は、「能力がない」とは違う。これはどういう意味か？　パラアスリートは、どのようにして能力を発揮するか？

## Extension activities

### 応用編

　インスピレーションや情報を提供できるような展示物を作って、学校や地域の施設で展示する。ランニングブレードの模型をメインに、パラリンピックのランナーや幅跳びの選手の競技写真、パラリンピックの価値について、関連する情報等と一緒に展示する。

### 家庭学習

　障害のある人たちが自立したり、パラスポーツに参加したりするために、スポーツ用具が果たしている役割について、どのようなことが挙げられますか？　まずはオットーボック社のウェブサイトを見てみましょう。
（WEB サイト　https://www.ottobock.co.jp/）


ottobock.
Worldwide Paralympic Partner
AGITOS Foundation
Developing Sport, Changing Lives